



## Interview



「海外バイヤー招へい商談会in高岡」

バイヤーとして来日したニューアーク美術館(アメリカ)のロワースさんは、「企業訪問で見た風鈴が、とてもチャーミングだった」と、話す。「高岡の製品は、非常に高品質だと思いました。漆器の商品も、デザインが優れていて、ミュージアムに持つていけば、喜ばれると思います」とのこと。フランスのPAデザインのケッタンさんは、「私はデザイナーなので、ものづくりの過程を興味深く見ました。鋳物の砂型など、手で作業しているのが印象に残りました。商品は、伝統の技術と、モダンな表現を両立していますね」と話してくれた。



2012年7月に開催された「海外バイヤー招へい商談会in高岡」  
(富山県産業高度化センター)

**さまざまな支援から  
多彩な成果が生まれる**

覚書の内容は、海外販路開拓支援に関するもの。中小企業への支援を円滑に実施するもので、JETROが市町村と締結するのは、全国初の事例だという。

実際には、展示会出展支援や能談対策、国際展開などのセミナーを開催する。7月には、4カ国か

上げた。また、JETRO富山と覚書も締結し、見本市出展とその後の展開を支援している。

2012年には、高橋高岡市長がパリに赴き、トップセールスを展開している。

高岡銅器協同組合の問屋13社が開発したブランド「KANAYA」は、2012年のメゾン・エ・オブジェに出展した。出展審査が厳

くの魅力がある。そのひとつが、「ダニアミックな出会いがあること」。例えば、世界的ブランドからのオファーや、共同開発の申込みなどだ。2013年、能作は、フランスのデザイナーと開発したレストラン向けの食器を、「シラ国際外食産業見本市」に初出展した。「これも、『メゾン・エ・オブジェ』に出展し続けているという、ステータスと安心感があるから」と話す。

しい見本市で、さらにブース獲得が困難な「NOW!」ゾーンへの出展である。2000人以上がブースを訪れ、翌年も続けて出展。「KANAYAは、パリにふさわしいイメージ。海外への発信に最適な見本市だった」と駒澤義則理事長。「早くも固定客に覚えられ、継続が大切だと確信しました」

出展には、能作の例が参考になつたというように、お互いが刺激しあうという効果もあるようだ。

出展した企業からは、海外への

## Interview



日本貿易振興機構  
(ジェトロ)  
富山貿易情報センター  
所長  
大久保 敦さん

富山に赴任し、「メゾン・エ・オブジェ」のジャパンブース(JETROが募集するブース)に、3社1グループが出展されると知り、他の市町村にはない活力を感じました。そこで、伝統工芸の分野で支援できることは何かと考え、高岡市との覚書締結に至ったわけです。

海外展開には、いろいろなハードルがあります。大きいのは海外マーケティング、価格設定。そして、貿易実務や自社の体制などですね。私は、「夢なき者は理想なし」で始まる渋沢栄一の言葉が好きで、スタートラインに立たないと何も生まれないと思っています。今後は、他の機関との連携も視野に入れ、産地全体の支援ができないか考えています。

本市に出展したブランド「」という物語が加わったのである。また、所長は「自社の商品のマーケティングができる」ということをあげる。出展している他のブランドを見るだけで、競争相手を知ることができます。

今回紹介した企業・組合は、新商品の開発や代理店契約など、次の展開を考え、動いている。どこも、「出展は続けたい」と、意欲的だ。高岡の伝統と創造の力が海外へ行き、そこで吸収したものが高岡にパワーを与え、新しい商品や試みとなり、再び海外へ発信する。世界を舞台にした、大きな成長の循環が始まっているようだ。

## 能作



©シルヴィ・アマール・スタジオ

4回目となる「メゾン・エ・オブジェ」(2013)の能作ブース(右)。上は、フランスのデザイナー、シルヴィ・アマール氏と開発したコレクションのひとつ。



「メゾン・エ・オブジェ2013」に  
出展したKANAYA。  
(新商品については、P7をご  
覧ください)



## 明治時代に世界へデビュー 絶賛された「高岡銅器」

幕末の開港とともに、高岡銅器は海外へといち早く進出した。明治に入ると、金工師たちの高度な技術による作品が、世界の博覧会に出展されるようになる。

特に、明治6年(1873)、ウイーン万国博覧会に出品された作品は、その技術と芸術性の高さで世界から絶賛された。その後、フィラデルフィア、パリ、シカゴなどの博覧会で数々の賞を受賞。「高岡銅器」の名声は、世界に広まったのである。また、ヨーロッパでは、高岡市出身の美術商、林忠正の活躍もあり、日本の美術工芸品が大ブームとなつた。



武人文大香炉  
明治11年(1878)パリ万博出品  
2代横山弥左衛門 作  
(高岡市美術館蔵)